

一般社団法人日本看護系学会協議会
2024年度社員総会 議事録

日時：2024年6月16日（日）10:00～11:35

方法：ZoomでのWeb開催

出席理事：安達 久美子、池田 真理、井上 智子、上別府 圭子（会長）
酒井 郁子（副会長）、佐々木 幾美、佐藤 正美、田高 悦子、
西村 ユミ、別府 千恵、前田 ひとみ、山川 みやえ

出席監事：浅野みどり、太田喜久子

（※五十音順、敬称略）

参加学会：40学会（公益社団法人日本看護科学学会、一般社団法人聖路加看護学会、一般社団法人日本がん看護学会、一般社団法人日本看護学教育学会、一般社団法人日本看護管理学会、一般社団法人日本看護研究学会、一般社団法人日本救急看護学会、一般社団法人日本クリティカルケア看護学会、一般社団法人日本公衆衛生看護学会、一般社団法人日本小児看護学会、一般社団法人日本助産学会、一般社団法人日本精神保健看護学会、一般社団法人日本地域看護学会、一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会、一般社団法人日本母性看護学会、一般社団法人日本循環器看護学会、高知女子大学看護学会、一般社団法人千葉看護学会、日本アディクション看護学会、日本運動器看護学会、日本看護医療学会、日本看護教育学学会、日本看護歴史学会、一般社団法人日本災害看護学会、一般社団法人日本在宅ケア学会、日本手術看護学会、一般社団法人日本新生児看護学会、一般社団法人日本腎不全看護学会、日本生殖看護学会、日本赤十字看護学会、一般社団法人日本難病看護学会、一般社団法人日本放射線看護学会、一般社団法人日本母子看護学会、日本慢性看護学会、日本ルーラルナーシング学会、一般社団法人日本老年看護学会、北日本看護学会、一般社団法人日本フォレンジック看護学会、日本産業看護学会、日本NP学会、）委任状1学会含む

※社員学会名簿順に記載

欠席学会：9学会（一般社団法人日本創傷・オストミー・失禁管理学会、一般社団法人日本家族看護学会、一般社団法人日本看護技術学会、日本看護診断学会、日本看護福祉学会、一般社団法人日本看護倫理学会、日本ニューロサイエンス看護学会、看護教育研究学会、一般社団法人日本在宅看護学会）

議長：上別府 圭子（会長）

議事録作成者：上別府 圭子（会長）

I. 開会宣言

上別府会長より、定款第 13 条の 5 に基づき会長が議長を務めることが確認され、2024 年度社員総会の開会の宣言がなされた。

II. 定足数の確認と会議成立宣言

上別府会長より、本総会は、以下のとおり定足数に達する社員の出席（委任状及び議決書を含む）を認めたことから、定款の 15 条に基づき本総会は適法に成立した旨を告げ、議事に入った。

議決権のある社員総数	49
総社員の議決権の数	49
出席社員数	40 学会（委任状 1 学会）
この議決権の総数	40

III. 会長挨拶

上別府会長より、社員総会参加に対する 謝意と開会挨拶が述べられた。

IV. 報告事項

1. 2023 年度の活動報告

資料に基づき、山川理事より庶務報告、意見交換会・理事会の報告がなされた。

- 1) 庶務報告
- 2) 2023 年度意見交換会・理事会報告

2. 2023 年度事業（委員会・プロジェクト）報告

各担当理事より、資料に基づき報告された。

- 1) 看護ケアガイドライン普及推進委員会
- 2) 日本学術会議・学協会との連携委員会
- 3) 医療安全推進委員会
- 4) 公的研究費拡大推進委員会
- 5) APN 制度推進委員会
- 6) 研究倫理推進委員会
- 7) 災害看護連携委員会
- 8) 広報委員会
- 9) 総務委員会
- 10) 将来構想プロジェクト

3. 2024年度事業案について

各担当理事より、資料に基づき報告され、質疑応答は特になかった。

- 1) 会議の開催
- 2) 事業（委員会・プロジェクト）案
 - 1) 看護ケアガイドライン普及推進委員会
 - 2) 日本学術会議・学協会との連携委員会
 - 3) 医療安全推進委員会
 - 4) 公的研究費拡大推進委員会
 - 5) APN 制度推進委員会
 - 6) 研究倫理推進委員会
 - 7) 災害看護連携委員会
 - 8) 広報委員会
 - 9) 総務委員会
 - 10) 将来構想プロジェクト

V. 審議事項

議案1 令和5年度決算報告・監査について

安達理事より、資料に基づき説明された。

太田監事より、資料に基づき監査報告がされ、質疑応答は特になかった。

→出席会員からの過半数をもって承認された。

<質疑応答>

日本赤十字看護学会 鎌倉

2023年度決算報告について、事業費が管理費よりかなり少なく、バランスが悪い状態かと思う。以前から、事務局費を事業費に入れるかどうか等の議論もでていたかと思うが、調整を行うことでバランスが改善されるのか、そういったことは関係なく、1/2以下の事業費になってくるのか教えていただければと思う。

会計担当理事 安達

2023年度に関しては、少し事業費自体が少なくなっているため、管理費の方が非常に多く感じるようになっている。2024年度の予算案はこれから説明予定だが、次年度に関しては、事業費の予算が増額となっているため、2023年度よりは是正されるかと思う。また、科目の分け方については、今いただいた意見を参考に税理士とも相談しながら検討をしていきたいと思う。

議案2 2024年度予算案について

安達理事より、資料に基づき説明された。

→出席会員からの過半数をもって承認された。

<質疑応答>

日本フォレンジック看護学会 加納

以下2点について教えて欲しい

- ① 予算の収支をマイナスで予算案としている理由
- ② 正味財産期末残高をみると割と多いように見える。今後会費が安くなることはあるか。

会計担当理事 安達

予算案がマイナス収支となっている件について、単年度の収支に関しては、マイナス会計になっているが、2023年度の決算案をみてもらうと80万円のプラスになっている。予算案はマイナスになっているが、昨年度の実績を鑑みると最終的には実際はプラス決算になるかと思う。

財産については、理事会、社員学会からの意見を伺いながら、理事会にて決定していく事項だと考えている。

会長 上別府

これから委員会が組織化されて、活動を活発にしていく予定であるため、予算案についてはご理解いただければと思う。

財産については、税理士の助言もあり、決して多すぎる残高ではないと言われている。2024年度、2025年度の活動の事業費等も鑑みて考えていきたいと思う。

日本フォレンジック看護学会 加納

社員学会全体を見て、大きな学会、小さな学会等、様々かと思うが、適正な会費についても検討いただければと思う。

理事 西村

前期、前々期も理事をしていたため、情報提供まで。現在の残高が多く見えるとのことだが、前期にCOVID-19の対策事業を2年間行っていた。日本看護協会に協力して、COVID-19中の看護職の支援を行うものであり、その際の収入があった分が学会の財産として蓄積している。

実際には、毎年収入として入ってくる会費は、学会の支出として出て行っている状態であるかと思う。

議案 3 定款施行細則改正案について

上別府会長より、資料に基づき説明がされた。

→書式の修正については、今後理事会で見直しをすることになったが、内容については、出席会員からの過半数をもって承認された。

議案 4 2025 年度役員選挙 選挙管理委員の選出

上別府会長より、資料に基づき、以下 3 つの学会に選挙管理委員をお願いすることが説明された。

→出席会員からの過半数をもって承認された。

- ① 一般社団法人日本創傷・オストミー・失禁 管理学会
- ② 一般社団法人日本地域看護学会
- ③ 一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会

VI. その他

以下のように各社員学会から自由発言の場とした。

1) 日本フォレンジック看護学会 加納

日本フォレンジック看護学会では法的な問題に関わる際のフォレンジックインタビュー、例えば性暴力被害者、犯罪被害が予測される方たちへの看護などの基盤作りをしている。まだまだ新しい分野のため、海外の方々と連絡を取りながら翻訳したり、日本の実態調査を行ったりをしているが、JANA の医療安全推進委員会が当学会に関連があると思った。自由な発言の場ということだったので、今後とも皆様にもご助言をいただけたらと思う。

2) 日本運動器看護学会 吉田

JANA の社員学会名簿を見ると、ほとんどの学会が社団法人化していた。当学会が一般社団法人化する際に、相談窓口として、JANA にコンサルテーションをしてもうらことは可能か。

会長 上別府

一般的な内容であれば相談いただければと思うが、詳しい内容については、ご紹介するようなかたちになるかと思う。詳細については、協議会事務局へ連絡をしてもらえればと思う。

3) 日本看護科学学会 吉沢

2月の意見交換で上別府会長の今後のビジョンを聞いて、大変感銘を受けた。
看護科学学会はJANAの社員学会の1つではあるが、実践を行っている看護協会や、教育の看護系大学協議会を含めて、様々が学会と一緒に今後行っていくことが、市民の皆様への看護の提供につながっていくかと思っている。看護協会とそういった話をする機会があったが、今後はJANAが話し合いのテーブルの中心となつて、良い方向に進めればと思っているため、看護科学学会としては、JANAの社員学会の一学会として、バックアップをしていきたいと思う。是非のこのJANAのビジョンを進めていただき、看護の連合体のような形として進んでいくことを願っている。

将来構想プロジェクト プロジェクトリーダー 池田

JANAの役割は大きいと思っているが、具体的な活動方針を示さないと、社員学会として、各学会がどのようなことができるかといった意見がいただけないかと思うので、もう少し具体的に今年度は取り組んでいきたいと思う。

4) 広報委員会委員長 佐藤

学会ホームページをより分かりやすく、社員学会の皆様にも使いやすいと思ってもらえるプラットフォームにできればと思っている。社員学会専用ページや、一般の方も見れる場所等も作っているため、何か希望があれば、事務局へ連絡をいただければと思う。掲載を希望するコンテンツについて等のアンケートは、9月頃にはできればと考えている。

以上をもって本日の議事が終了したため、議長は11:35に閉会を宣言した。また、以上の決議を明確にするため、本議事録を議長が作成し、議長及び出席監事が次に記名押印する。

2024年6月16日

一般社団法人日本看護系学会協議会

議長（議事録作成者） 上別府圭子 印

監事 浅野みどり 印

監事 太田喜久子 印